

蘇南高校 卒業式 あいさつ (要旨)

卒業生の皆さんご卒業おめでとうございます。

保護者の皆様、お子様の健やかなご成長心よりお喜びとお祝いを申し上げます。

先生方には、日頃から子ども達が学校の内外を問わずお世話になっていきますこと、そしてコロナ禍の中でご苦勞頂きながらも卒業にお導き頂いた事に感謝申し上げます。

さて卒業生の皆さん、3年間蘇南坂を登りきった今のお気持ちは如何でしょうか。皆さんの胸の中には、あの急な坂を歩きながら見た景色と共に、辛かった事、苦しかった事、嬉しかった事、楽しかった事の様々な思い出が走馬灯のように流れているのではないのでしょうか。今、その思い出を胸に社会に向かって飛び立つ時を迎えました。社会に出れば、いや人生を生きていく上では多少の困難や苦勞は付きものです。その困難や苦勞を乗り越えるための術や力を、蘇南高校の3年間で身に付けたはずです。特に最後の一年はコロナ禍の中でも、学び続けたという自信と誇りを持って乗り越えて行って欲しいと期待をしています。

社会科の授業で習ったかと思いますが、かのアメリカの公民権運動の指導者でノーベル平和賞を貰ったキング牧師は、どんな苦しい時でも「I have a dream. 私には夢がある。」と言って困難に立ち向かっていきました。日本でも江戸時代の幕末の思想家で、明治維新に活躍した多くの人物に影響を与えた吉田松陰は、「夢なきものに成功なし」と夢の大切さを説いています。皆さんにも夢や希望がある筈です。社会に出てもその夢や希望のために羽ばたきを続ける、努力を重ねて欲しいと思います。長い人生ですので、時には道に迷うでしょうし、時には羽を休めることも必要でしょう。しかし、どんな時も社会という荒波に飲まれてしまうことなく、自分が見定めた方向に向かって羽ばたきを続けて下さい。皆さんには、それが出来る若さと可能性が 있습니다。自身を信じ精進を重ね、目指すゴールもしくは納得できる場所へ降り立ってくれることを期待しています。

地元市町村長の代表としてひとつお願いをしておきます。それは、皆さんの若い力を故郷のために貸して欲しいということです。今皆さんの故郷(ふるさと)は、どの市も町も村も若い人の力を必要としています。方法はそれぞれで構いません。故郷に住むこと、故郷で働くこと、故郷に蔭って来ること、或いは故郷に関わること、故郷を思うことでも構いません。これからも故郷に繋がって下さい。繋がっている限り、故郷は皆さんをいつでも応援していきます。その故郷に皆さんも何かしらの方法で力を寄せて頂けたらとお願いするものです。

そんなことを胸に刻みながら、そして母校や先生方、お父さんお母さんのことも胸に置きながら、人生の中で最も光り輝く青春時代を突き進んで欲しいと思います。

本日卒業される全ての皆さんが輝き、大い活躍されること、それぞれの人生が花開いて実り多き人生となることをお祈りしながら、ハナムケの言葉と致します。本日は誠にありがとうございました。